

今なぜデジタルドキュメントか

1998、11、11
松下電器産業株式会社
海外CSセンター
北川勝巳

今なぜデジタルドキュメントか

家電業界におけるドキュメント環境

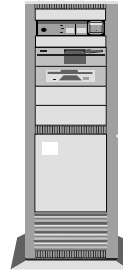
- ☀ 商品開発期間の短縮
コンカレントドキュメンテーション
- ☀ 商品レンジの拡大に伴うドキュメントの増加
管理・保存・メンテナンスの簡便性
メンテナンスフリー（エンドユーザ）
- ☀ 商品のボーダレス化、グローバル化
ユーザのグローバリゼーション
(Anywhere , Anybody , Anytime)
- ☀ 生産拠点のグローバル化
グローバルなドキュメンテーション
- ☀ ドキュメント作成体制のリストラ
作成・メンテナンス業務の効率化

全社技術資料データベース管理システム

執筆部門

CS 情報サービスセンター

事業部



技術資料電子化
全社データ
ベース

電子化データ
の登録

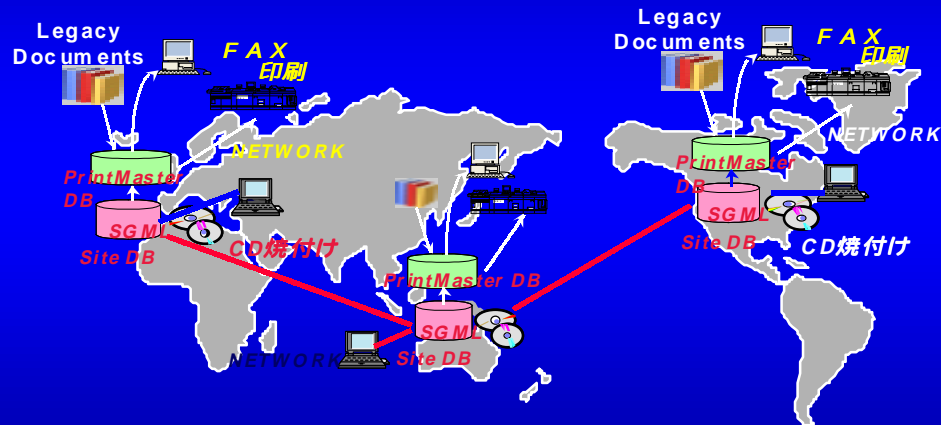


米国

欧州

アジア

ドキュメント活用システム



紙からデジタル化とネットワーク化へ

☀ 編集者サイドのニーズ

- ◆ グローバルスタンダードの仕組み
 - ・ 編集の仕組み
 - ・ データフォーマットと TOOL
 - ・ ドキュメント管理 TOOL

・ *SGML* データ
システムの導入
・ *Doctor SGML*
+ *Oracle7*

- ◆ 設計開発からCSまでのデジタルドキュメントの統合的システム
 - ・ CAD、部品納品仕様書、製造仕様のデジタルドキュメントの再利用システム
- ◆ *ISO 9000* に対応した管理システム
 - ・ 電子データの管理（インデックス管理、保存）
 - ・ 発行、変更のプロセスと承認のプロセス

紙からデジタル化とネットワーク化へ

☀ ユーザサイドのニーズ

- ◆ グローバルスタンダードのVIEWINGとネットワーク対応
グローバルに業界として
 - ・ 共通のデータ形式とドキュメント検索システム
 - ・ 共通のネットワーク対応ブラウザ
- ◆ 回線の電送スピード・効率に適応
電話回線からEthernetまでの電送スピード差
 - ・ イン트라ネットにおけるブラウジング性能
 - ・ インターネットにおけるブラウジング性能
- ◆ Multi language対応
英語、独語、仏語、西語の他中国語、ロシア語など

家電業界における 日本のドキュメント管理システムの欧米との違い

制作編集の体制

欧米：集中編集・デジタル専門スキル・内部作成
スキルの高い専門的業務としての位置付け

日本：分散編集・非デジタル化・外部委託
非専門的業務・兼任業務的な位置付け

文章作成基準化

用語統一、文章構造の基準化が不十分

文章発行の承認プロセスの基準化

発行責任、プロセスが不明確または基準の不徹底
ドキュメントの著作権、所有権が不明確

ドキュメントのデジタル化時代に大きな障害